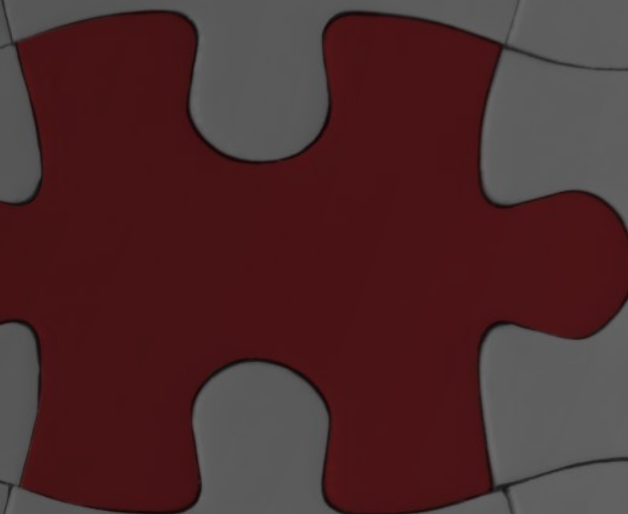


徳山大学

アーリーエクスポージャー型
インターンシップ

徳山大学 地域共創センター

立部 文崇



本日の発表の流れ



- 徳山大学 キャリア支援の全体像について
- 地域課題の解決を目指したアーリーエクスポージャー型インターンシップ
実施背景と目的について
- アーリーエクスポージャー型インターンシップの特徴について
- 学生にとってのアーリーエクスポージャー型インターンシップ
- アーリーエクスポージャー型についての紹介
- 学生の学びについて
- 地域共創型インターンシップのこれから

地域の課題

大学の取り組み

周南圏域の人口減少

地域の成長エンジンに



若者の地域定着を目指す「アーリーエクスポージャー型
インターンシップ」の実施

※医療系などでは、卒業後の現場を早く知ることでの
目標明確化などに位置付けられている。

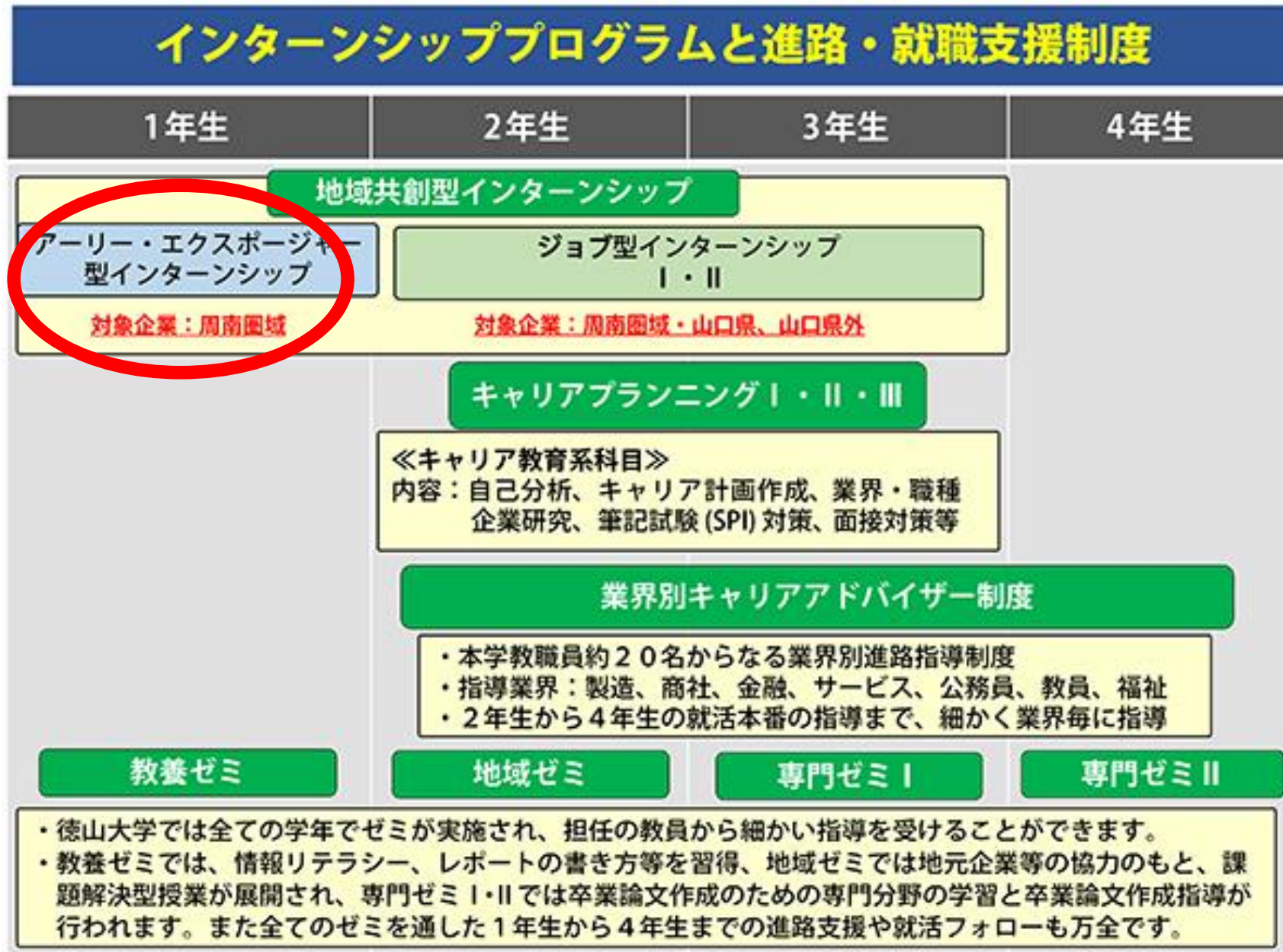
徳山大学「アーリーエクスポージャー型（早期就業体験型）
インターンシップ」の実施

1年生の夏季休暇中に、地域で活躍している社会を知ることで

- ・ 就業体験を経ることによって2年後の就職活動において 職業選択の可能性(選択肢)が増える
- ・ 大学の出口(卒業後)を意識することで、学業・学生生活の過ごし方を考える機会となる
- ・ これから4年間を過ごす地域を知る入り口となる
- ・ 学部学科を問わず、広く経験を促すことで広い視野をもつ大切さに気づくことができる

学生の成長と地域への定着促進を目指したプログラム

徳山大学 キャリア支援の全体像



徳山大学

アーリーエクスポージャー型インターンシップ

実施背景

周南圏域（周南市、下松市、光市）の人口減少、
特に若者の減少という地域課題

産学金言の連携による「周南創生コンソーシアム」

(1) 周南圏域における人づくりに関すること

①地域人財循環の促進

(2) 周南広域におけるまちづくりに関すること

①全ての人が住みやすい社会の構築

(3) 周南広域における事業づくりに関すること

①周南広域が創造・発展するための事業立案

(4) その他、周南創生コンソーシアムの事業として適切であると考えられるもの

地域共創型

インターンシップの開発

・アーリーエクスポージャー型
インターンシップ

・ジョブ型
インターンシップ

大学生の地域への理解を深め、地域への定着を目指したプログラム

徳山大学が果たすべきミッション：地域の持続的発展と価値創造のための「成長エンジン」となる

徳山大学アーリーエクスポージャー型 インターンシップの特徴

- ・ 周南圏域（周南市、下松市、光市）で、全員（159名）がインターンシップを行う点
コロナ禍の影響で対面参加者は64名
- ・ インターンシップ受け入れ先を産学金言が連携して開拓できた点
- ・ 幅広い業種がインターンシップ先として提供できた点
（金融、まちづくり、福祉、サービス、設計、メディア、設計、生産などなど）

西京銀行、株式会社サンルート徳山、トクヤマ海陸運送株式会社
株式会社シティーケーブル周南、株式会社KRYサービスステーション
周南システム産業株式会社、徳山興産株式会社、周南市立徳山駅前図書館など 合計32社

- ・ 対象が1年生のため実習を通じ志望を絞るのではなく選択肢を広げる、就活ではなく大学生活の充実に焦点を当てた点
- ・ 32社に業界・会社説明、職種と適性、必要な能力や人物像、ビジネスマナー等を含んだプログラムの提供をお願いできた点

産学金言が連携した周南創生コンソーシアムとの連携による幅広い企業の紹介



地域に対する幅広い理解につながり

多様な業種、職種を知ること未来の可能性の広がりにつながる



徳山大学

アーリーエクスポージャー型インターンシップ 学生にとっての位置付け

行動規範：学生のためになるかどうか、地域発展につながるかどうか

早期の社会での就業体験がもつ意味

学生の成長の機会として：自己の適正把握の機会
社会で求められる人材像の理解
社会で必要とされる素養を知る機会

徳山大学では、地域とともに学生を育てる、地域で学ぶ科目を設け、CBLを推進している。
(Community Based Learning)

2年次必修科目：地域課題に、教員の専門性ととともに学生が取り組む「地域ゼミ」

3年次科目：地域から課題をもらい、ゼミで解決に取り組むPBL型専門ゼミ
など

1年次のインターンシップは、これらのCBLの入り口としても位置付けられる。

インターンシッププログラムと進路・就職支援制度

1年生	2年生	3年生	4年生
地域共創型インターンシップ			
アーリー・エクスポージャー型インターンシップ 対象企業：周南圏域	ジョブ型インターンシップ I・II 対象企業：周南圏域・山口県、山口県外		
キャリアプランニング I・II・III			
≪キャリア教育系科目≫ 内容：自己分析、キャリア計画作成、業界・職種企業研究、筆記試験(SPI)対策、面接対策等			
業界別キャリアアドバイザー制度			
・本学教職員約20名からなる業界別進路指導制度 ・指導業界：製造、商社、金融、サービス、公務員、教員、福祉 ・2年生から4年生の就活本番の指導まで、細かく業界毎に指導			
教養ゼミ	地域ゼミ	専門ゼミ I	専門ゼミ II
・徳山大学では全ての学年でゼミが実施され、担任の教員から細かい指導を受けることができます。 ・教養ゼミでは、情報リテラシー、レポートの書き方等を習得、地域ゼミでは地元企業等の協力のもと、課題解決型授業が展開され、専門ゼミ I・IIでは卒業論文作成のための専門分野の学習と卒業論文作成指導が行われます。また全てのゼミを通した1年生から4年生までの進路支援や就活フォローも万全です。			

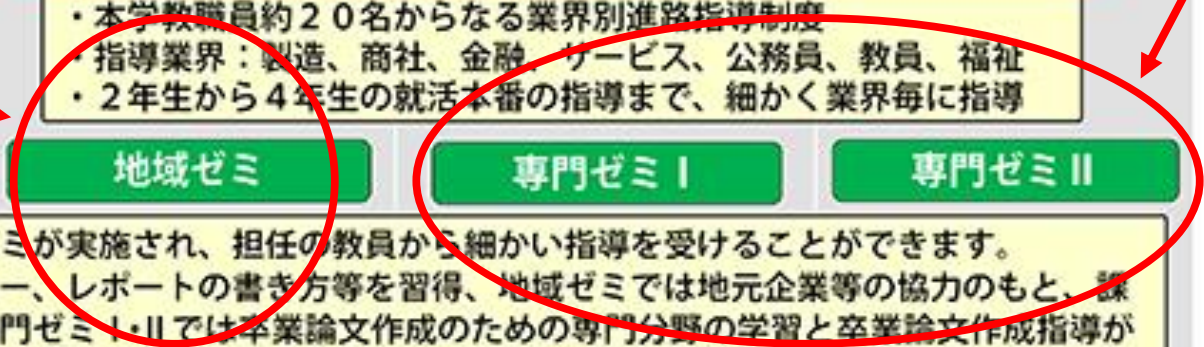
地域を知り、地域で学ぶ入り口



大学で身につけた専門性を地域に活かす卒業研究へとつなげる



大学での学びを地域で活かすゼミ



徳山大学アーリーエクスポージャー型 インターンシップ 実施スケジュール (2021年度)

4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月

履修登録

授業概要の説明、企業研究

企業リストの提示・マナー
講座の実施

マナー講座の振り返り
レポートの作成方法など

インターンシップの実施

インターンシップの中止

インターンシップ体験者の経験共有
オンラインでの振り返りの実施

オンラインでのインターンシップを実施
(県内企業の紹介・地元企業による
企業説明など(金融、小売業、IT業界
など・行政による行政職の紹介)

インターンシップの報告会の実施

現在、次年度のインターン
シップの受け入れ先を開拓中

レポートの作成と提出
(協力：ピアサポートセンター)



徳山大学アーリーエクスポージャー型 インターンシップ 事前研修

1年次にインターンシップに行くことの意義の共有

- ・ 職業選択の可能性（選択肢の多様化、拡大）
- ・ 適正の確認機会
- ・ 社会が求める能力の把握
- ・ 卒業までの成長目標の明確化

業界・職種研究

- ・ 職業選択のポイント
- ・ 業界、職種とは何か
- ・ 業界研究の方法
- ・ 職種の具体的な説明と求められる人物像について

インターンシップ先、紹介、選択のポイント、申し込み
インターンシップ先のマッチング

マナー講座の実施

- ・ お礼メールの書き方
- ・ ビジネスマナー
- ・ コンプライアンス教育など

インターンシップを終えてのレポート課題の設定

- ・ インターンシップでの目標
- ・ インターンシップの概要
- ・ 体験したこと、気づいたこと
- ・ 振り返り
- ・ 報告型レポートに求められる書式

徳山大学アーリーエクスポージャー型 インターンシップ 実施例

西京銀行さま・株式会社ミズノさまで行われたインターンシップのうちひとつの取り組み例

- ①企業概要とサステナビリティについて講義を受ける
(株式会社ミズノさまが取り組むSDGsを知る)
- ②株式会社ミズノさまのライフ&ヘルス事業とスポーツ施設事業について講義を受ける
(取り組みに対しての強みと課題の関係について学ぶ)
- ③課題発見→原因分析→解決方法を考えるプロセスについて学ぶ
- ④西日本豪雨の被災地の課題を取り上げ、事例調査を実施 (周南市の課題：西日本豪雨災害問題)
- ⑤自分達で調査した事例調査をまとめ、発表

(他のグループ取り組み例：健康増進、離島・中山間地域活性化、若年層投票率向上)

徳山大学アーリーエクスポージャー型 インターンシップ 実施例

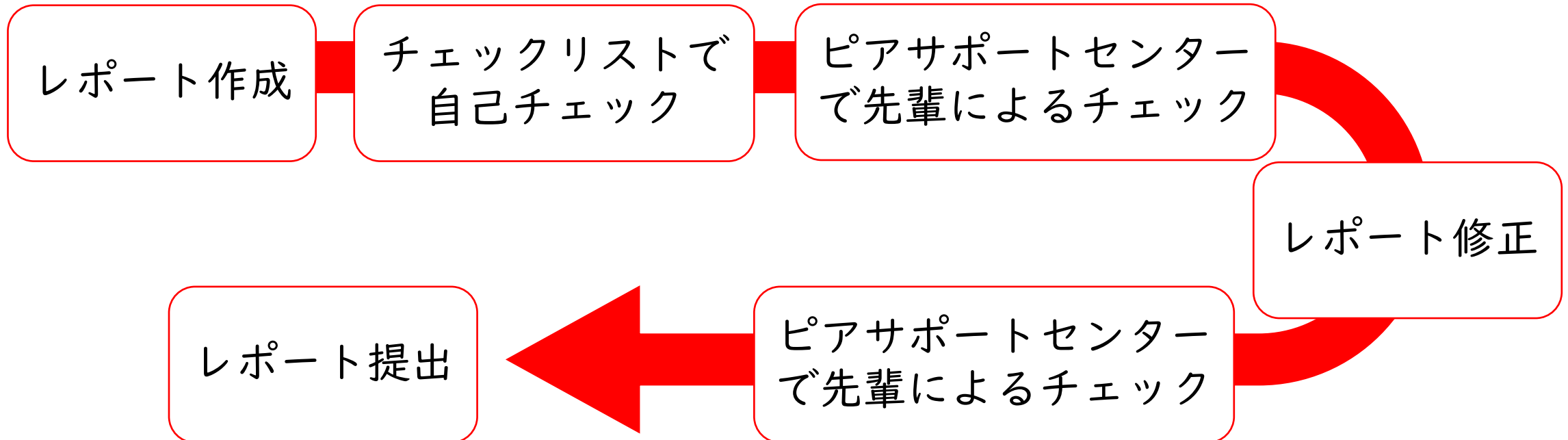
産機設計有限会社さまでのインターンシップ事例

- ① 仕事への取り組み方についてレクチャを受ける。
(専門性のいらない仕事になっていないかが大切)
- ② 朝の朝礼から参加し、情報の共有、みんなで解決方法を考える大切さを知る。
- ③ 2DCAD、3DCADを実際に使ってみる。



徳山大学アーリーエクスポージャー型 インターンシップ 事後指導

- ・ インターンシップ参加者による体験の共有の会を設定
 - 多様な業種でのインターンシップを多くの学生で共有
 - 多様な業種への理解につながり、進路選択の幅が広がる
- ・ レポート作成指導を循環型教育のひとつに

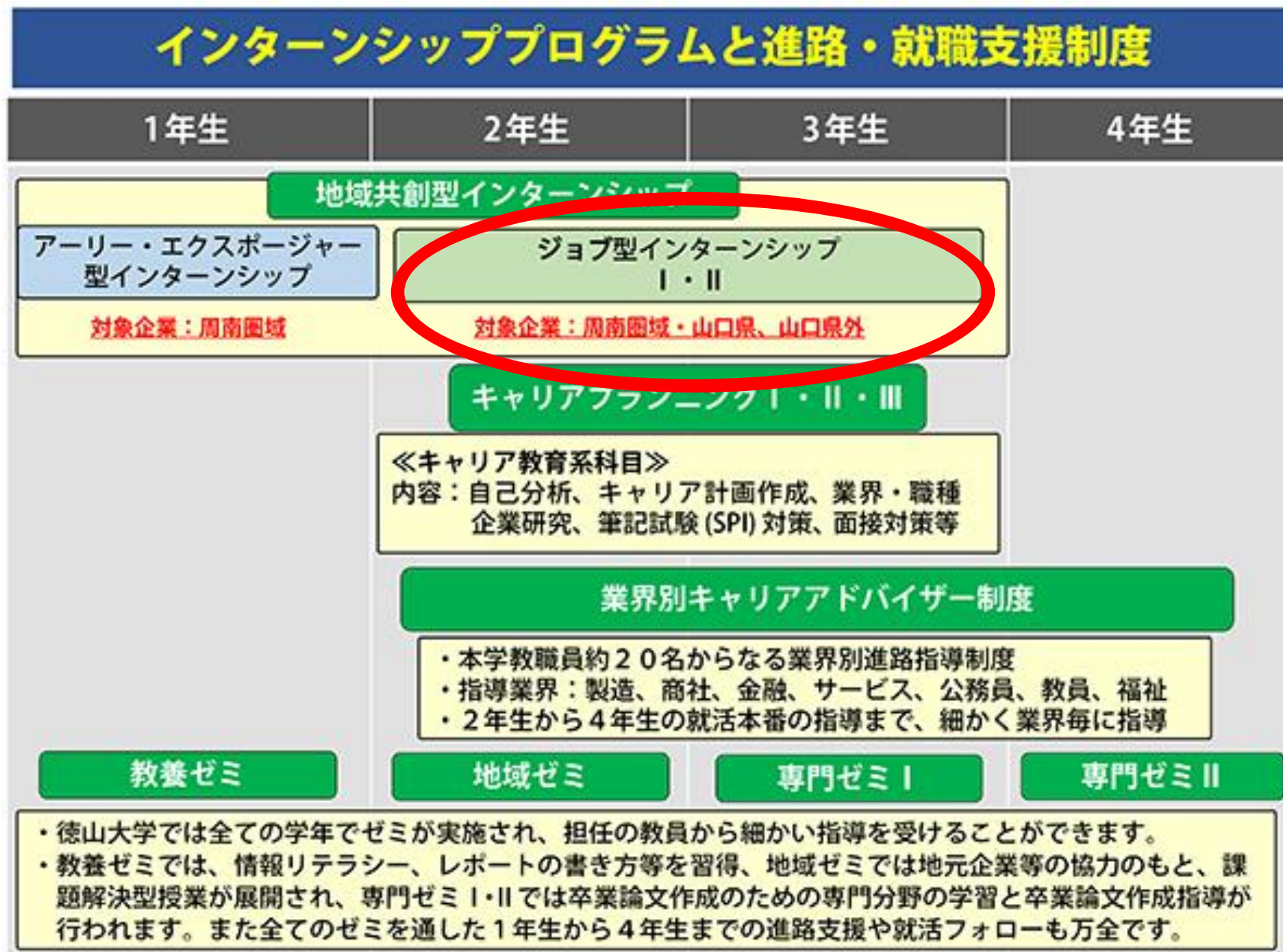


アーリーエクスポージャー型 インターンシップでの学生の成長

学生の声

- 貴重な話を聞くことができ、課題解決に向けた工程やプレゼンテーションの方法について学ぶことができた。 **(社会人基礎力に関わることに体験できている)**
- 地域について調べることで以前よりも深く地元を知ることができた。
(地域への理解の深まりが見える。)
- 設計に触れることが普段ないので三日間がすごく新鮮に感じたし知識を吸収出来て将来につながる体験もたくさんすることができた。
- 自分がこれからどうするべきか明確まではいかないがこうなりたいというビジョンも見えて大学生活を頑張ろうと改めて思った。 **(視野の広がりが見える。)**
- 今回のインターシップはオンラインでの授業だったのですが、とても勉強になったと思います。さまざまな職業があったのですごく興味あることばかりでよかったなと思います 他の人の体験を聞いて、とてもおもしろそうな企業に行ったりしている人とかもいたし、とてもいい発表でわかりやすかったです。 **(体験の共有による成果)**

地域共創型インターンシップ、Job型インターンシップへ



ご清聴ありがとうございました。

